



ウィリアム・ダイス《彩色をはじめて試みる少年ティツィアーノ》1856-57年

© Aberdeen Art Gallery & Museums

日本初公開のスコットランド絵画を含む、西洋近代絵画に華やかな歴史を残した秘蔵の珠玉80点

英国 アバディーン 美術館 所蔵

A Scottish Collection—Treasures from Aberdeen Art Gallery

イギリス・フランス近代名画展

2000年11月2日(木)～12月3日(日)

高松市美術館 〒760-0027香川県高松市紺屋町10-4
Tel 087-823-1711

休館日＝月曜日
開館時間＝火・水・木曜日(9時から18時まで)、金曜日(～19時まで)、土・日曜日・祝日(～17時まで)
入室はいずれも閉館30分前まで／初日は午前10時開展示

入場料 ■ 一般1,000円(800円)／高大生600円(480円)／小中生300円(240円)

※()内は前売りおよび団体20名様以上の料金
※65歳以上の高齢者(長寿手帳等が必要)・身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉
手帳所持者は入場無料
※第2・第4土曜日は小・中・高生入場無料

主催／高松市美術館 読売新聞大阪本社 西日本放送 美術館連絡協議会 後援／プリティッシュ・カウンシル 協賛／花王株式会社 協力／日本航空



デイヴィッド・ファーカーソン〈アバディーンへのディー港を出航する艦船〉1888年



ジョン・フィリップ〈スコットランドの洗礼〉1850年

A Scottish Collection—Treasures from Aberdeen Art Gallery

イギリスの北東部、北海に臨む港町アバディーン市は、スコットランド第3の都市として発展を見てきました。美しい砂浜と近郊から産出される花崗岩を使った白亜の建物が多いことでも知られ、毎年数多くの観光客がこの地を訪れています。そして、幕末から明治にかけて活躍し、「長崎のグラバール邸」で知られるトーマス・ブレイク・グラバールの出身地として日本とは深い親交が100年以上も育まれてきました。

その町の中心に位置するアバディーン美術館は、文化的に高い趣向をもった市民が自分たちのコレクションを公開しようと1873年に市庁舎で展覧会を開催したことに端を発し、市民からの寄贈作品を基に1885年、開館した美術館です。その後、繁栄する経済活動に支えられ、欧米の質の高い絵画などのコレクションを増やし、現在、西洋美術史を語る上で重要な作品を数多く収蔵しています。

本展覧会は、その誇るべきコレクションの中から油彩を中心にイギリス・フランス近代絵画80点が厳選されたもので、海外でのまとまった公開はこれが初めてとなります。18世紀の風景画に始まり英国美術の巨匠ブレイクとターナー、そして19世紀中葉イギリスで結成されたラファエル前派、ヴィクトリア朝時代の物語絵画、20世紀の抽象画、また日本で紹介される機会の少なかったレイヴァリーやガスリーといったスコットランド絵画などのほか、フランスのリアリズム絵画、モネやルノワールなどの印象派の名品をも含む豊かな内容で構成されました。西洋近代絵画に華やかな歴史を残したアバディーン美術館秘蔵の珠玉80点を、多くの方にご覧いただけるまたとない貴重な機会です。



ジュール・バスティアン＝ルバージュ〈登校〉1882年



ウィリアム・ブレイク〈ラザロの蘇生〉1805年頃



ウィリアム・ホルマン・ハント〈過去と現在〉1868年

ギャラリートーク

当館学芸員による展示作品の解説

11月4日(土) 午後2時～
2階展示室にて

美術館ボランティア「civi(シヴィ)」とともに 展示作品の鑑賞

毎日曜日および祝日

(11月3日(金)・5日(日)・12日(日)・19日(日)・23日(木)・26日(日)、
12月3日(日)) 午前11時～、午後2時～一日2回 2階展示室にて

次回催し物のお知らせ

マティスとモデルたち展

2001年1月12日(金)～2月12日(月・祝)

交通のご案内

JR四国—JR高松駅下車、南へ徒歩15分
琴平電鉄—瓦町駅・片原町駅下車、徒歩10分
バス路線—紺屋町バス停下車、徒歩3分
駐車場—美術館地下に公営駐車場
(有料、乗用車144台収容)



ジェームズ・ガスリー〈新しい牧草地へ—鷺鳥使いの少女〉1883年



クロード・モネ〈フェカンの断崖〉1881年



エドワード・アトキンソン・ホーネル〈首曲の集い〉1894年